

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

平素は、「GS MLPインフラ関連証券ファンド(愛称:ザ・シェール)毎月決算コース/年2回決算コース(以下当ファンド)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2014年9月26日に設定を行い、川中事業の銘柄を中心に、安定した高水準の配当利回りと持続的なキャッシュフロー成長が見込まれる銘柄に投資しています。当ファンドが主要投資対象とするMLP等の市場の設定来の動向と運用状況、今後の見通し、ポートフォリオの概況をご報告申し上げます。今後とも安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指してまいりますので、引き続きお引き立てを賜りますよう、何卒よろしく御願申し上げます。

### 設定来のMLP等の市場と運用状況

#### 市場動向

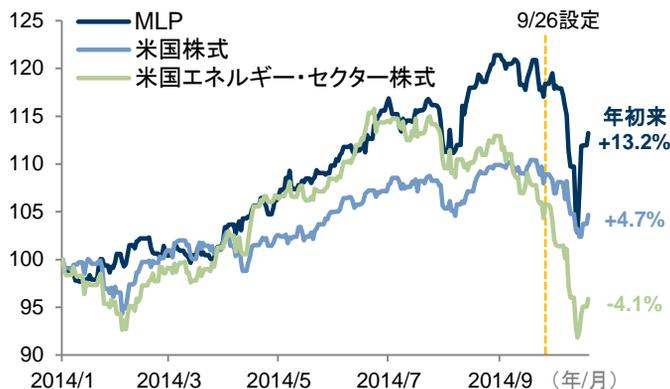
- 原油価格の下落や、欧州経済見通しの下方修正などに伴い、幅広い市場においてリスク許容度が縮小したことを受けて、米国株式市場および米国エネルギー・セクター株式が調整に転じたことを契機に、年初来から堅調に上昇してきたMLP市場もこれまでの反動から調整しています。一部ヘッジファンドのポジション整理など需給要因も加わり、MLP市場は10月3日から14日まで8営業日連続で下落しました。
- 原油価格は、中国・欧州での原油需要鈍化懸念に加え、これまで原油減産による価格調整を主導してきたサウジアラビアが増産を続けていることから、下落しました。原油価格(WTIスポット)は一時80ドル割れまで下落しました。
- この原油価格下落の影響から、米国エネルギー・セクター株式は9月末から10月13日までで10.7%下落しました。また、足元の原油価格の急落が、シェール・オイルの生産拡大ペースの鈍化やインフラ投資の延期といった懸念の連想を生み、MLP市場においても利益確定売りを引き起こし、MLP市場は同期間で-12.7%と比較的大きな調整を経験しました。しかし、その後は原油価格が下げ止まりの兆候を見せつつあること、MLPのファンダメンタルズは原油価格変動の影響を受けにくく引き続き堅調であるとの見方が広がったことから、足元のMLP市場は反発しています。

#### 当ファンドの運用状況

- 設定来、当ファンドの基準価額は両コース共に8.9%下落しました(10月20日時点)当ファンドは原油価格変動の影響を受けにくい川中事業の銘柄を中心に安定した高水準の配当利回りと持続的なキャッシュフロー成長が見込まれる銘柄に投資しておりますが、MLP等の市場の下落と円高の進行により、当ファンドでも基準価額は下落しました。

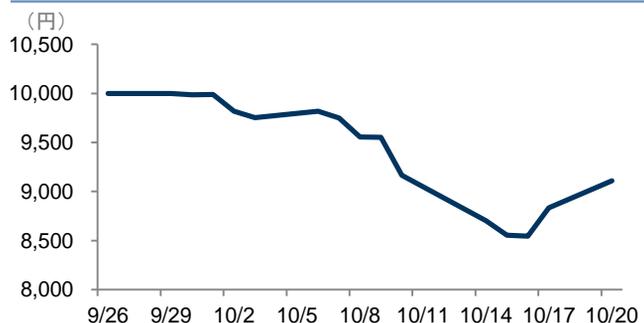
各指数について: MLP: アレリアンMLP指数、米国株式: S&P500指数、エネルギー・セクター株式: S&Pエネルギー・セクター・セレクト指数

#### 2014年 各資産クラスの推移



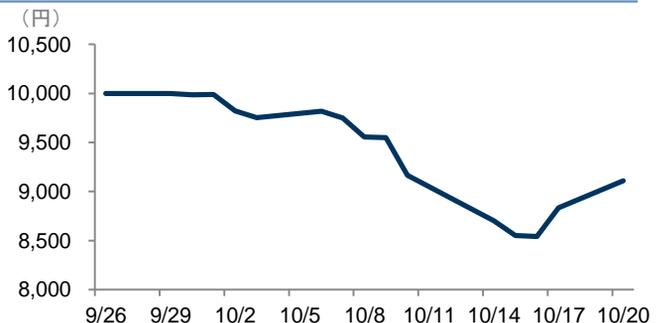
出所: ブルームバーグ 期間: 2013年末~2014年10月20日 (2013年末を100として指数化)

#### 毎月決算コース 基準価額推移



期間: 2014年9月26日~2014年10月20日

#### 年2回決算コース 基準価額推移



期間: 2014年9月26日~2014年10月20日

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、弊社が「信頼できると判断した情報等」に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。尚、本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。©2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <142328.OSF.OTU>

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

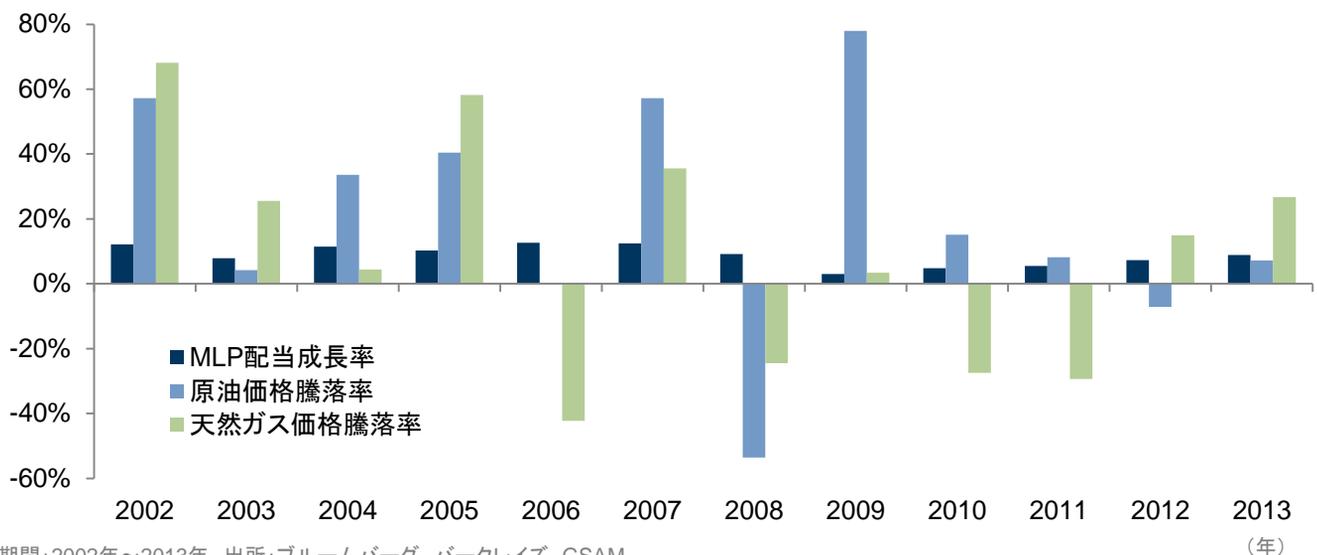
## 運用状況と今後の見通し

### MLP等の市場に対する今後の見通し

#### 今回の調整に関する当社の見方

- 今回、原油価格の下落がきっかけとなり、MLP市場において幅広い利益確定売りを引き起こしました。
- MLPが営む川中事業は、長期契約に基づくフィー収入であり、エネルギー価格ではなくエネルギー輸送量増加により収益が拡大する安定的なビジネスモデルを有しており、エネルギー価格の変動がMLPのファンダメンタルズに与える影響は小さいと考えられます。実際、下記の図の通り、過去のMLPの配当成長率とエネルギー価格の変化には、大きな相関関係はありません。また、今回市場では原油関連業務を行っていないMLPも大きく売られたことから、ファンダメンタルズには直接関係なく投資家のセンチメント悪化による利益確定売りが市場の下落につながったと考えられます。

#### MLPの配当成長率とエネルギー価格の年次騰落率



期間: 2002年~2013年 出所: ブルームバーグ、パークレイズ、GSAM  
原油: WTIスポット価格、天然ガス: ヘンリーハブ・スポット価格

#### 原油価格とMLPのファンダメンタルズに関する見通し

- 今後の原油価格の動向に関しては、サウジアラビアによるシェア拡大の狙いもあり、さらなる価格の下落も可能性としては否定できません。しかし、原油価格は依然として米国の代表的なシェールの平均的な採算ラインとされている60-70ドルの水準を上回っており、原油の生産が今後も拡大するという見通しに変更はありません。
- 仮に、原油価格が採算ラインの水準を下回る状態が続くようであれば、原油生産量が減少し輸送需要減退によりMLPのファンダメンタルズが悪化する可能性があります。しかし、原油価格が採算ラインに近づけば、一部の生産者は生産調整を始めて需給バランスが好転するため、その蓋然性は低いと見ています。

#### 今後の見通し

- 当社では米国における原油や天然ガスなどのエネルギー生産量は今後も増加が続くと見ています。現時点では、MLPのファンダメンタルズは良好であると見ており、今後の配当成長見通し等にも変更はございません。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。尚、本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。©2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <142328.OSF.OTU>

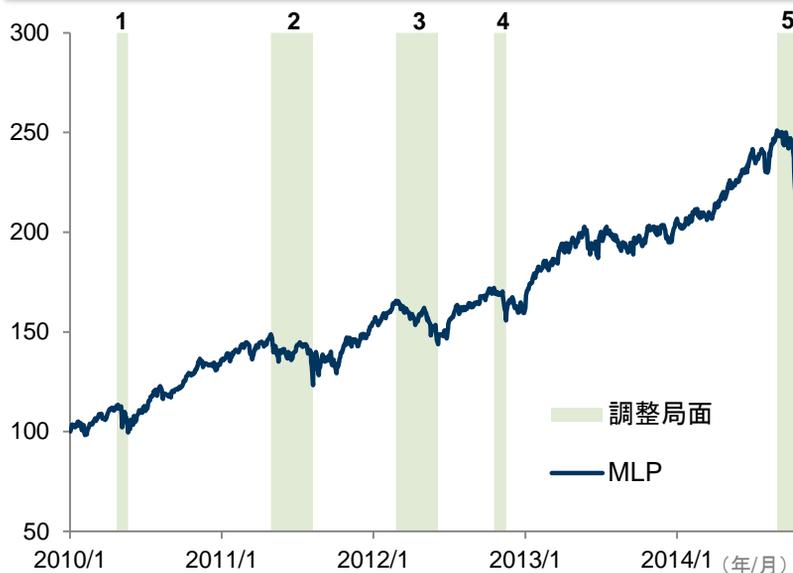
# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

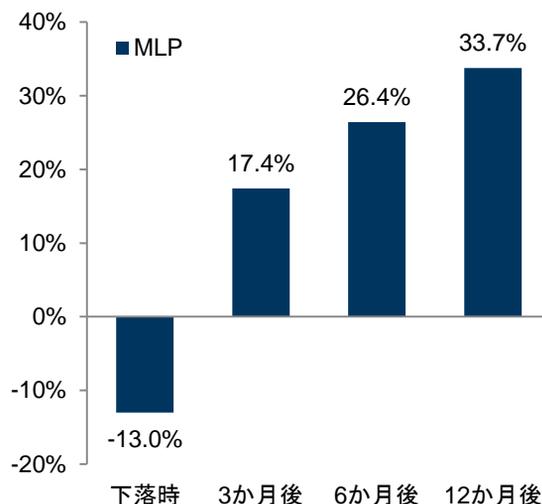
### 下落局面は良好な買い機会を提供

- 2010年以降、MLP市場が比較的大きな調整局面を迎えたのは今回を含めて5回目になります。いずれの期間もMLPのファンダメンタルズの変化を反映したのではなく、外部環境の変化に影響を受けたものであり、調整後は順調に上昇しております。
- 過去の経験を踏まえると、調整局面は良好な買い機会を提供するものと考えており、今回も下落を受けてバリュエーションの魅力度は高まっています。

MLPの過去の下落局面



左記の過去4局面の調整後平均騰落率



期間: 2010年1月~2014年10月20日 出所:ブルームバーグ MLP:アレリアンMLP指数(配当込み)、2009年末を100として指数化  
調整局面はアレリアンMLP指数(配当なし)が10%以上下落した局面を示す。

上記5局面におけるMLPの騰落率

期間	営業日数	MLP騰落率	下落の背景
1 2010/4/26 - 5/20	18	-12.2%	ギリシャ危機、欧州債務問題
2 2011/4/29 - 8/8	69	-17.1%	米国債務上限問題
3 2012/2/24 - 6/4	69	-13.2%	原油価格の下落、ギリシャユーロ離脱懸念
4 2012/10/17 - 11/15	18	-9.5%	大統領選挙後の税制変更懸念
1 - 4期間 平均	44	-13.0%	
5 2014/8/29 - 10/14	31	-15.3%	原油価格の下落

調整期間後のMLP騰落率

	3か月後	6か月後	1年後
1	18.9%	34.4%	41.3%
2	18.2%	29.6%	30.6%
3	14.6%	13.7%	33.1%
4	17.9%	28.0%	30.1%
1 - 4期間 平均	17.4%	26.4%	33.7%
5	-	-	-

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目録見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。尚、本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。©2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <142328.OSF.OTU>

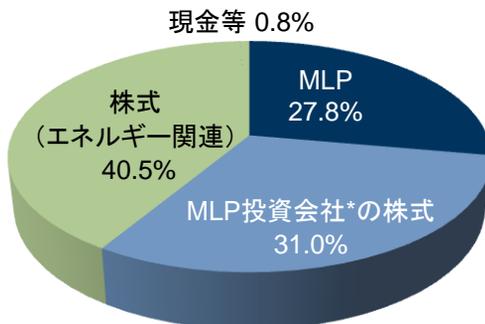
# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

### マザーファンドのポートフォリオの状況(2014年9月末時点)①

- 各ファンドが投資対象とする「GS北米エネルギーインフラマザーファンド」のポートフォリオは以下の通りです。
- エネルギー産業には、「川上」「川中」「川下」の3つのカテゴリーがあり、中でもパイプライン、タンカー、貯蔵施設などを営む川中事業に注目しています。その主な理由は、キャッシュフローの安定性と成長性です。川中事業はその輸送量に比例してキャッシュフローを得ることができ、キャッシュフローの成長に伴い、配当額の成長が期待されます。
- 川中事業のキャッシュフローは長期契約に基づくフィー収入で、インフレヘッジ条項があり、エネルギー価格との相関が低いのも特徴です。ポートフォリオの構築においては、業界の動向や需給といったマクロ動向分析、エネルギーの種別、事業種別や地域別といったトップダウンのセクター分析、そして個別銘柄の選定といった3つのステップを行います。

### 資産クラス別配分



### ポートフォリオ状況

銘柄数	38 銘柄
配当利回り	4.79%

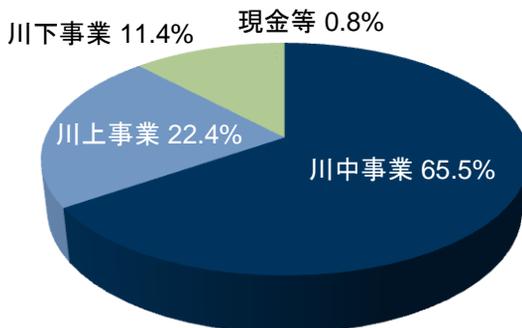
※配当利回りは個別銘柄の配当利回りを対純資産総額の組入比率で加重平均したもので、現金等を含むマザーファンド全体の配当利回りです。

※比率はマザーファンドの対純資産総額です。マザーファンドは「GS北米エネルギーインフラマザーファンド」です。

\*GPを所有する企業をいいます。

MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)には、MLPの代表的な指数に連動するETF(上場投資信託)、ETN(上場投資証券)等を含みます。MLPは、ジェネラル・パートナー(GP)とリミテッド・パートナー(LP)から構成されます。GPは一般的に2%程度の出資を行い、経営権を有します(GP持分は一般的に非上場です)。LPは残りの出資を行い、その持分がMLPとして金融証券取引所に上場されます。

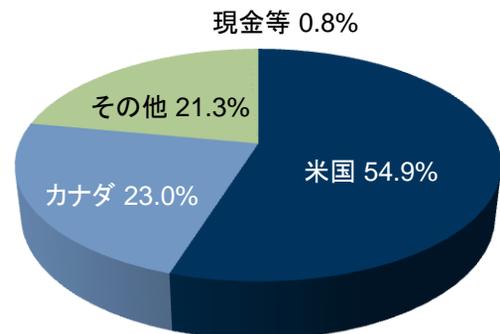
### 事業別配分



※比率はマザーファンドの対純資産総額です。事業分類は運用チームの分類を用いています。

川中産業(エネルギー・インフラ)=パイプライン、貯蔵施設などインフラの運営  
川上産業=エネルギーの探鉱・開発・生産  
川下産業=石油精製、化学製品の製造・販売

### 国別配分



※比率はマザーファンドの対純資産総額です。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

### マザーファンドのポートフォリオの状況(2014年9月末時点)②

- 個別銘柄選択においては、特にバランスシートに注目しており、安定的な配当と持続可能な成長性が見込まれるかに焦点を当てて投資していきます。

### 組入上位10銘柄\*

組入銘柄数: 38銘柄

銘柄名	国	種別	事業***	比率
1 ウィリアムズ・カンパニーズ	アメリカ	MLP投資会社**	川中事業	7.1%
2 スペクトラ・エナジー	アメリカ	MLP投資会社**	川中事業	4.5%
3 トランスカナダ	カナダ	MLP投資会社**	川中事業	4.5%
4 クレシント・ポイント・エナジー	カナダ	株式	川上事業	4.4%
5 ワンオク	アメリカ	MLP投資会社**	川中事業	4.0%
6 CVRエナジー	アメリカ	MLP投資会社**	川下事業	3.9%
7 タルガ・リソーシズ	アメリカ	MLP投資会社**	川中事業	3.7%
8 ドミニオン・リソーシズ	アメリカ	株式	川下事業	3.4%
9 シードリル・パートナーズ	ノルウェー	MLP	川中事業	3.3%
10 VTTIエナジー・パートナーズ	イギリス	MLP	川中事業	3.3%

\*比率はマザーファンドの対純資産総額です。  
マザーファンドは「GS北米エネルギーインフラマザーファンド」です。  
\*\*GPを所有する企業をいいます。  
\*\*\*事業分類は運用チームの分類を用いています。

川中産業(エネルギー・インフラ)=パイプライン、貯蔵施設などインフラの運営  
川上産業=エネルギーの探鉱・開発・生産  
川下産業=石油精製、化学製品の製造・販売

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

### 収益分配金に関わる留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

#### 投資信託で分配金が支払われるイメージ

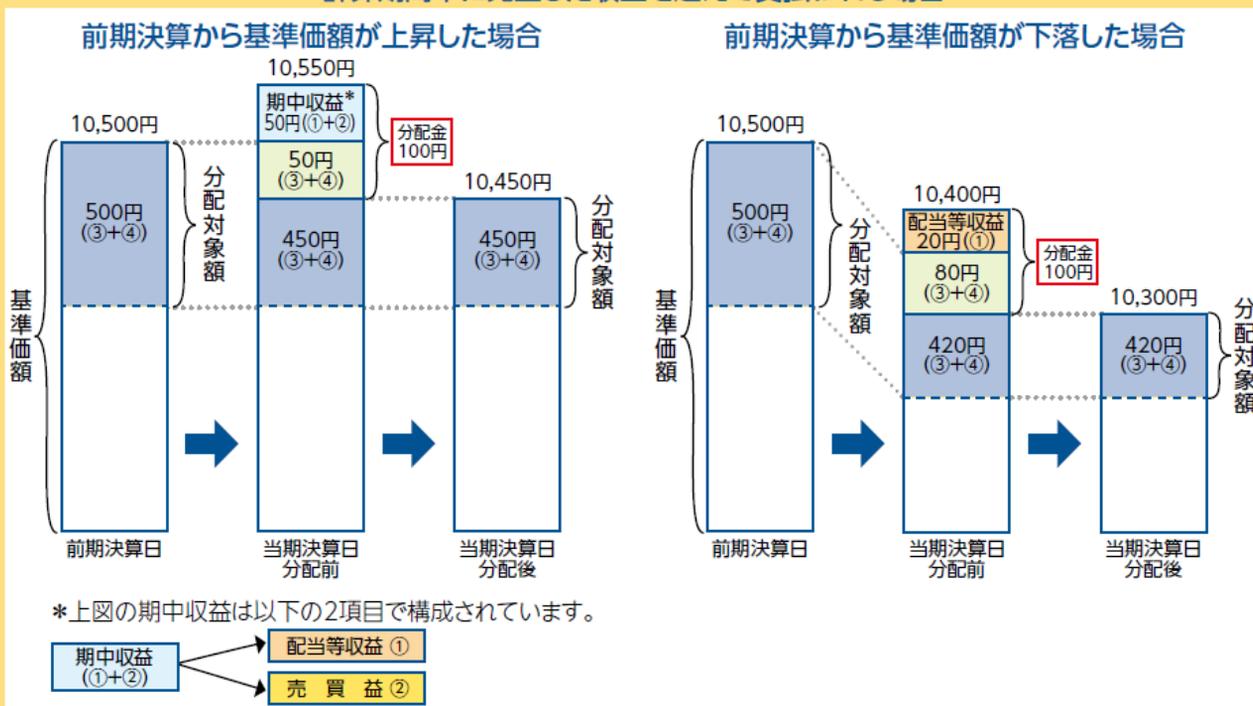


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金(当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益)④収益調整金(信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分)です。

#### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資家の場合には、市場の変動等に伴う組み入れ資産の価値の減少だけでなく、収益分配金の支払いによる元本の払戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動しますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。尚、本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。©2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <142328.OSF.OTU>

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

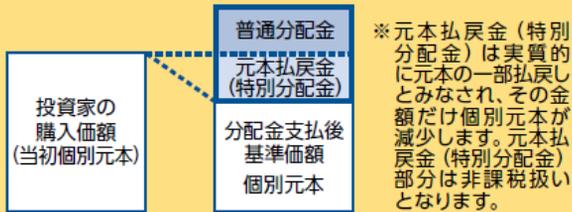
## 運用状況と今後の見通し

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

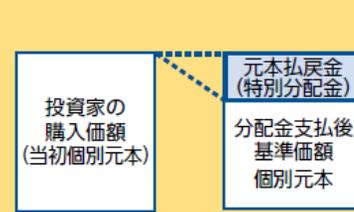
### 収益分配金に関わる留意点(続き)

投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がりだが、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払戻しに相当することがあります。元本の一部払戻しに該当する部分は、元本払戻金(特別分配金)として非課税の扱いになります。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資家のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資家の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### ファンドのポイント

1. 主に米国およびカナダの金融商品取引所に上場するMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)、MLP関連証券およびエネルギー・インフラ関連企業の株式等に投資を行います。

※MLPにはETF、ETN等を含みます。MLP関連証券にはMLP投資会社の株式等を含みます。本ファンドが投資対象とするMLPは普通株式と同様の税率が適用される証券から構成されます。投資信託説明書(交付目論見書)の3ページをご覧ください。

2. 川中(エネルギー・インフラ)事業を中心としつつ、川上および川下事業を含めた幅広いエネルギー関連銘柄の中から、相対的に高い配当利回りと成長が期待できる銘柄に着目してポートフォリオを構築します。
3. 原則として為替ヘッジを行いません。決算頻度が異なる毎月決算コースと年2回決算コースからお選びいただけます。

※販売会社によっては、各コース間でスイッチングが可能です。ただし、換金時と同様に税金をご負担いただきます。なお、販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合や、スイッチングに手数料がかかる場合があります。くわしくは販売会社までお問い合わせください。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

※本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。委託会社は、本ファンドの運用をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルおよびゴールドマン・サックス(シンガポール)ピーティイー(投資顧問会社。以下、それぞれ「GSAMニューヨーク」「GSAMロンドン」および「GSAMシンガポール」といいます。)に委託します。GSAMニューヨーク、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポールは運用の権限の委託を受けて、有価証券の運用を行います。

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

#### 主な変動要因

##### 株式投資リスク(価格変動リスク・信用リスク・集中投資リスク)

本ファンドは、北米を中心としたエネルギー関連企業の株式、MLPおよびMLP関連証券を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式・MLP等の投資にかかる価格変動リスク等の様々なリスクが伴うこととなります。本ファンドの基準価額は、株式・MLP等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特に北米を中心としたエネルギー関連企業の株式・MLP等の下降局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が大きいと考えられます。また、本ファンドは、一定の業種に対してより大きな比重において投資を行いますので、業種をより分散した場合と比較して、ボラティリティが高くより大きなリスクがあると考えられます。エネルギーや天然資源の需給関係、技術進歩、経済的・政治的事由および戦争・テロ等の影響を受け、株式・MLP等の価格が変動した場合には、ファンドの基準価額が大幅に変動することがあります。一般的に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式等の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において株価が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

##### MLPおよびMLP関連証券への投資リスク

MLPおよびMLP関連証券の価格は、大規模な設備投資等を行うため、MLPの事業を取り巻く環境や資金調達動向、金利変動等の影響を受けて変動します。本ファンドが組入れるMLPの価格の下落やMLPに関連する法律・税制等の変更により、本ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

##### 為替変動リスク

本ファンドは、外貨建ての株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。本ファンドは為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。))に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。尚、本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。©2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <142328.OSF.OTU>

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

### ファンドの費用

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に、 <b>3.78%(税抜3.5%)を上限</b> として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信託財産留保額	なし

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して <b>年率1.8684%(税抜1.73%)</b> ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の諸費用	監査費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
随時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 委託会社その他関係法人の概要について

- **ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(委託会社)**  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
信託財産の運用の指図等を行います。
- **ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル(GSAMロンドン)**  
**ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(GSAMニューヨーク)**  
**ゴールドマン・サックス(シンガポール)ピーティーイー(GSAMシンガポール)(投資顧問会社)**  
委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受けて、投資判断・発注等を行います。
- **三井住友信託銀行株式会社(受託会社)**  
信託財産の保管・管理等を行います。
- **販売会社**  
本ファンドの販売業務等を行います。  
販売会社については、下記の照会先までお問い合わせください。  
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社  
電話: 03(6437)6000 (受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)  
ホームページ・アドレス: [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)



**Asset  
Management**

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、弊社が「信頼できると判断した情報等」に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。尚、本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。©2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <142328.OSF.OTU>

# GS MLPインフラ関連証券ファンド 愛称:ザ・シェール

## 運用状況と今後の見通し

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

### 販売会社一覧

<毎月決算コース/年2回決算コース>

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 投資信託協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融 機関	関東財務局長(登金) 第39号	○			○	
UBS証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第2633号	○		○	○	○

### 本資料のご利用にあたってのご留意事項等

- 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。
- ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。
- 個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。
- 投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。尚、本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。©2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <142328.OSF.OTU>



Asset  
Management